

# 若いなかま

若いなかま No.205

2019 (令和元)年 7月15日 発行

発行 (公社)福岡県青少年育成県民会議

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番50号  
吉塚合同庁舎6F

TEL(092)643-6001 FAX(092)643-6003

E-mail: net.y.d@isis.ocn.ne.jp

ホームページ: http://www.fayd.jp/



島門小2年 前田 紗來



広渡小4年 近江 佳奈



島門小6年 山中 涼菜



遠賀中1年 藤井 伽野



平成30年度「家庭の日」「オアシス運動」  
ポスターの部 最優秀賞  
遠賀町立遠賀中学校2年 二村 柚綺

※最優秀賞他優秀賞7点



名島小1年 首藤 隼人



浅木小3年 伊藤 健志



植木小5年 奈良井 梨音

## 目次

令和元年度定時総会開催	2
事業計画	3
青少年育成活動で表彰	4
永年賛助会員に感謝状贈呈	5

特集 子どもの貧困問題への取り組み	6
～ NPOわたしと僕の夢 ～	
市町村民会議の紹介	7
青少年の健全育成を考える	8
「青少年育成 考」	
事務局だより	8

## (公益社団法人)福岡県青少年育成県民会議は、

青少年問題の重要性にかんがみ、広く県民の総意を結集し、国や県の施策に呼応して、総合的な運動を展開し、将来を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に昭和41年12月13日に結成されました。

(昭和45年 社団法人。平成25年4月1日公益社団法人に移行となる。)





令和元年五月二十九日(水)、福岡リーセントホテルレインポーホールにおいて、公益社団法人福岡県青少年育成県民会議の定時総会が開催された。当日は、江口勝・福岡県副知事や渡辺勝将・福岡県議会文教委員長(議長代理)をはじめ、各界から多くの来賓が出席された。また、議事に先立ち、長年の青少年健全育成活動に尽力された団体(者)表彰と永年賛助会員への感謝状贈呈が行われた。

公益社団法人  
**福岡県青少年育成県民会議定時総会**  
平成三十年度事業報告・収支決算を承認  
とき 令和元年5月29日(水) ところ 福岡リーセントホテル

総会の最初にあいさつに立った長井会長は、「急速な少子化や核家族化の進展、地域でのつながりの希薄化、スマートフォンを始めとする情報ツールの進化などにより、青少年を取り巻く状況は、大きく変化してきている」との現状認識を示した後、「私たち青少年の健全育成に携わる者は、これまで以上に、地道ではありますが、着実に、活動の実績を積み重ねていくことが重要」であり、「公益社団法人へ移行して6年目を迎え、その使命はますます大きくなってきている」と訴えた。最後に、「県民会議は、今後とも、その時代その時代の『青少年の置かれた立場』、『社会が青少年に求める姿』を的確に把握し、国・県の取り組みと歩調を合わせ、市町村民会議や青少年団体の皆様方と一緒に、青少年の健全育成を進めて参ります」と決意を述べた。



江口 勝副知事

来賓の江口副知事からは、「県においては、飛躍的に発展するアジア諸国に若者を派遣する『福岡県グローバル青年の翼』、全国の高校生を対象に、世界を舞台に挑戦する人材を育成する『日本の次世代リーダー養成塾』など、地域の未来を担う青少年の育成に取り組んでいる」という報告があった。



渡辺 勝将文教委員長



16  
TEN  
JIN  
SKY  
HALL

西日本新聞会館16F 天神スカイホール

天神ど真ん中のホスピタリティホール

福岡・天神の多目的ホールとして「心からのおもてなし」を提供します。講演会、シンポジウム、研修会、同窓会、各種パーティー、記念行事など多目的にご利用いただけます。



〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目4-1 西日本新聞会館16階 TEL:092(712)8855

天神スカイホール

検索





# 令和元年度事業計画

## ★青少年関係団体等の活動支援事業

- 市町村民会議等の活動支援
- 青少年関係団体の顕彰
- 福岡県青少年育成アドバイザー連絡協議会の活動支援



## ★青少年育成健全事業

- 少年の野外学習事業  
令和元年8月7日(水)～11日(日) 熊本県阿蘇市
- 青少年囲碁大会 令和元年8月下旬予定 福岡市  
福岡県江蘇省青少年囲碁交流大会 令和2年3月予定 江蘇省
- 少年の主張福岡県大会 令和元年9月7日(土) 田川市 田川文化センター
- 福岡県民さわやかマラソン大会 令和元年11月24日(日)  
福岡市 海の中道海浜公園
- 青少年体験学習活動ボランティア養成事業



## ★健全な家庭づくり推進事業


- 「家庭の日」「オアシス運動」の推進  
作文・ポスターの募集 令和元年8月1日(木)～9月10日(火)  
最優秀作品・優秀作品の表彰・展示 (アクロス福岡・県庁ロビー)
- 乳幼児教育研修 令和2年2月予定
- 親子教室事業
- よりよい親子関係講座事業



## ★青少年健全育成運動広報啓発事業


- 広報紙「若いなかま」の発行 年3回(7月・11月・3月)
- 広報活動 令和2年2月 県庁ロビー  
内容：県民会議各事業パネル展示、少年の主張、少年の野外学習事業のビデオ放映等
- 各種啓発資料の発行
- 県民会議ホームページでの広報






## ココロがある。コタエがある。

誠実なココロで人と向き合い、ベストなコタエをご提案する。  
それが、創立以来ずっと変わらない西日本シティ銀行の仕事です。  
お客様の人生のパートナーとして、企業の皆さまの事業のサポーターとして。  
「総合力No.1の地域金融グループ」を目指して、私たちは挑戦し続けます。




©GROOVISIONS



表彰

祝

おめでとうございます

総会議案審議に先立ち、県内の青少年健全育成を推進するために、永年にわたり尽力された方々の功績を称え、1団体と1個人に表彰状が贈られました。

また、青少年の育成に深い理解を示し、貢献された永年特別賛助会員2団体と永年賛助会員3団体、36名の個人に感謝状が贈呈されました。

〔個人表彰〕

( ) は活動年数

◆大橋 拾子 氏 柳川市 (11年)

平成20年から市民会議理事、県民会議青少年育成運動推進指導員として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱をもって活動し、市民会議の指導的立場である。特に、家庭・福祉部会の中核的な役割を担い、事業の企画、推進に努める等、その熱意と積極性は関係者らから高い評価を受けている。

◆長谷部 経宜 氏 飯塚市 (13年)

平成18年から東地区青少年健全育成委員会、会長、NPO法人飯塚市青少年健

全育成会連絡協議会理事として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動している。特に、東地区青少年健全育成会会長に就任以降は、会運営強化に努め、小学校卒業生への紅白餅の贈呈、カレー大会の開催や三大祭りでの炊き出しを現在も続けている。平成29年度には、「東地区こども食堂」を開設するなど、その能力を遺憾なく発揮し、青少年の健全育成に貢献している。



個人・団体表彰の皆様

◆角銅 輝彦 氏 飯塚市 (9年)

平成22年から堀池地区自治会長、楽市校区西社会福祉協議会会長、楽市校区青少年問題対策委員会委員長、NPO法人飯塚市青少年健全育成会連絡協議会常任理事などとして、青少年育成・非行防止・安全安心活動に深い理解と情熱をもって

活動している。また、小中一貫校の設立準備にも携わり、青少年健全育成会、まちづくり協議会の一本化にも取り組まれ、現在も会長や要職を務め、地域の安全安心活動を中心に積極的に活動している。

◆金澤 雅明 氏 行橋市 (12年)

平成19年から行橋市青少年育成市民会議事務局長、行橋警察署少年補導員として、青少年育成・非行防止・安全安心活動に深い理解と情熱を持って活動している。

市民会議の運営、諸事業に主体的かつ真摯に取り組むとともに、今日まで駅周辺の補導・声かけ、乗車マナー向上に積極的に活動している。

また、民生委員・児童委員として、地域の活性化や青少年の健全育成、相談に当たるなど、その熱意と積極性は関係者らから高い評価を受けている。

◆田中 重文 氏 行橋市 (11年)

平成20年から行橋警察署少年補導員、行橋市青少年育成市民会議委員、県民会議青少年育成運動推進指導員、学校評議員として、青少年育成・非行防止・安全安心活動に深い理解と情熱を持って活動している。市民会議の運営、諸事業に主体的かつ真摯に取り組むとともに、今日まで駅周辺の補導・声かけ、乗車マナー向上に積極的に活動している。

また、過去に通学路でのあいさつ運動が評価され、「小さな親切運動実行賞」を受賞し、更に中学校、高等学校のPTA会長を務め、学校教育や青少年の健全

育成に大きく寄与している。

◆安藤 隆弘 氏 行橋市 (9年)

平成22年から行橋警察署少年補導員、行橋市青少年育成市民会議委員、宝山地区自治会長として、青少年育成・非行防止・安全安心活動に深い理解と情熱を持って活動している。

また、平成21年から現在も「今川校区声かけ運動」に参加し、早朝から児童の安全安心づくりに努めている。

◆川邊 太平治 氏 行橋市 (9年)

平成22年から行橋警察署少年補導員、行橋市青少年育成市民会議委員として、青少年育成・非行防止・安全安心活動に深い理解と情熱を持って活動している。

また、平成22年度から現在も駅周辺の補導や乗車マナー向上啓発運動を定期的に行うとともに、市民会議の委員及び自治会の役員として、市民会議の事業促進や地元の諸行事を通して地域の子どもの健全育成に寄与している。

◆三重野 隆博 氏 荻田町 (41年)

昭和53年から荻田町尾倉育成会委員、荻田町子ども会育成連合会本部役員、顧問、民生委員・児童委員、荻田町青少年育成町民会議健全育成家庭部会役員として、青少年育成・非行防止・安全安心活動に深い理解と情熱を持って活動している。特に、育成会の活動は41年にもおよび、その熱意と積極性は関係者らから高い評価を受けている。



◆松枝 玲子 氏 菟田町 (25年)

平成6年から菟田町青少年育成町民会議委員、理事、「すこやか」編集長、主任児童委員、菟田町保護委員、中学校評議員、小学校区放課後児童クラブ運営委員、中学校区いじめ問題等対策協議会委員などとして、永年にわたり町民会議の運営・諸事業に積極的に取り組むとともに、様々な視点から青少年育成・非行防止・安全安心活動に深い理解と情熱を持って活動している。

また、地域学童通学路での声かけ運動も長年行い、明るい町づくり明るい子どもたちの育成に取り組んでいる。

◆右田 喜章 氏 (12年)

平成14年から2年間県民会議副会長、平成20年から10年間会長として、永年にわたり県民会議の運営・諸事業に積極的に取り組むとともに、様々な視点から青少年育成・非行防止・安全安心活動に深い理解と情熱を持って活動した。

特に平成28年度設立50周年記念の関連事業については、中心となって推進し、無事に事業を終えることができた。

◆新田 光之助 氏 (17年)

平成13年から県民会議理事として、永年にわたり県民会議の運営に積極的に取り組むとともに、様々な視点から青少年育成・非行防止・安全安心活動に深い理解と情熱を持って活動した。

【団体表彰】

◆池田まちづくり協議会

北九州市 (12年)

池田小学校区の住民相互の連帯感と自治意識の向上を図り、ふれあいのある豊かなまちづくりを推進することを目的に、小学校の下校時間と長期休み期間中に青パトで防犯パトロールを行なっている。パトロールでは、青パトから下車して積極的な交通指導を行うとともに、「悪いこと」をしている青少年を見つけたら叱るなど積極的に指導しており、保護者等からも活動の理解と評価を得ている。



永年賛助会員感謝状を授与された皆様

永年賛助会員に感謝状

※敬称略

★20年特別賛助会員 (1団体)

福岡県信用保証協会

★20年賛助会員(2団体・22個人)

公立学校共済組合福岡宿泊所  
粕屋殖産(株)

石川治夫

入江智子

江川 洋

熊野君男

倉富美智子

小林祥彦

河野達海

東 久恵

満生充一郎

森 博子

横溝彌太郎

福岡県宅地建物取引業協会

★10年特別賛助会員(1団体)

糸田町自由が丘老人クラブ鶯会

★10年賛助会員(1団体・14個人)

赤星満子

柿本憲治

城戸徳郎

末田金次

中原憲幸

原 桂子

松石量則

大西潤平

加藤重敏

古賀祐三

末次威生

馬場京子

久下正俊

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

あなたのいちばんに。

福岡銀行





# 特集

## 子どもたちの未来を応援します

特定非営利活動法人

### 「わたしと僕の夢」

204号に続き子ども達の貧困問題について特集します。

#### ◆設立の趣旨【要約】

格差社会の中、母子家庭や生活困窮家庭の子ども達に経済的負担が無く、個々の能力を発揮できる学習の場を提供する。高校進学を諦めることなく希望ある将来の確立をするための支援を。

#### ◆理念

子ども達の生きる力を身に付ける。

#### ◆目標

高校に進学し将来の選択肢を増やす。友達や仲間・大人との出会い、人を信じることで自分を高め生きる力を身につける。目指すは「おばあちゃんの家」

#### ◆活動内容

- ① 無料塾 ② 居場所づくり
- ③ 無料の食事提供 ④ 自宅訪問支援
- ⑤ 職業観を育てる ⑥ 地域と関わり、豊かな経験を育てる

職員の野中さんと小川さん



普段の活動の様子（ホームページより）

自宅訪問支援をしている。学習より見守りが主で、基本は1時間。

★**運営面**…久留米市の全面支援に加え、個人、団体、企業が支援している。久留米市の支援がなければ成り立たない事業。現在職員は6名。野中さんはご自身が母子家庭であり、何か出来ないかと思っている時にこの活動に出会い職員に。小川さんは、元派遣会社の職員で、代表の佐藤さんに勧められて現職に。お二人とも2年目に。

★**無料塾は二つ**  
「あしたね」は小学生13人・中学生3人が登録している。「東和塾」は中学生のみ。高校受験が目的で現在42名が在籍している。  
科目は英・数・国の3科目。久留米大学や連携する大学の学生、元教員など有償ボランティア約30名で担当。子どもの8割く9割が久留米市からの紹介。個人希望も役所を通じての登録になる。基準は母子家庭、被生活保護家庭が対象となり、条件外もあるが役所の審査を受けての登録となる。今年の卒業生は33名全員が公立または私立に合格し高校に進学。これまでに塾を卒業した子どもは300人を超える。木曜日に卒業生が立ち寄る。食事の提供、居場所の提供は卒業生にもなお続いている。

★**通学範囲**…塾からの5キロ四方圏内が条件。車で送迎。家から出られない、遠方、家庭の事情で通えない子どもには

★**課題**…個々のケースは多様で、職員自身の対応能力の向上が必須。「色々な引出しを持たなければ続かない活動」と野中さんは話す。大学生の卒業時期には人員確保が最大の悩みであると。しかし、子ども達の変化が楽しみであり、この活動、仕事の醍醐味であるとも言っている。地道な活動が困窮する子どもたちの未来を応援している。

### 「わたしと僕の夢」のあゆみ



代表の佐藤有里子氏

- 2002年 派遣会社を設立
- 2010年 無料塾・無料の食事提供
- 2012年 特定非営利活動法人「わたしと僕の夢」設立
- 久留米市との連携
- 2014年 久留米大学との連携
- 2015年 信愛女学院との連携
- 2016年 現在の東和町のビルで活動開始「東和塾」「あしたね」を開催。
- 2018年 第31回キワニス社会公益賞に表彰される。

※キワニスクラブとはロータリークラブ・ライオンズクラブと並ぶ世界3大奉仕団体の一つ。

久留米市のビルの一角に一人親家庭や被保護世帯の子ども達の居場所がある。始まりは、平成22年に佐藤有里子氏が立ち上げた無料塾。現在は「わたしと僕の夢」の事務局であり、子ども達の食と学習支援を無料で提供する「あしたね」と「東和塾」のスペースである。久留米市の支援と地域・大学・ボランティアが一体となった、他に見えない活動が展開されている。今回「わたしと僕の夢」の事務局を訪ね、職員の野中寿一さんと小川美穂子さんにお話を伺った。



# 市町村民会議の紹介

今号より各市町村民会議を紹介していきます。今回は、北九州市と飯塚市です。

## 「我が NPO 法人の 青少年健全育成のとりくみ」

### NPO 法人飯塚市青少年健全育成会連絡協議会

NPO 法人飯塚市青少年健全育成会連絡協議会（以下、連絡協議会）は、平成18年3月、旧飯塚市、穂波町、筑穂町、庄内町、瀬田町の新設合併後、平成21年4月、NPO 法人として設立を認証されました。飯塚市伊岐須に事務所があり、理事15名・監事2名、会員数26個人、13団体、賛助会員6団体、事務局員数6名で構成しています。



- 年間の主な活動は、
- ① NPO 法人飯塚市青少年健全育成会連絡協議会総会
  - ② 飯塚市少年の主張大会
  - ③ いっぴか小学生の討論会
  - ④ 広報誌「青少健だより」の作成発行
  - ⑤ 非行防止キャラバン（7地区青少年健全育成会）
  - ⑥ 放課後児童クラブ（市からの受託事業）
  - ⑦ 飯塚市子どもの健全育成支援事業（市からの受託事業）等です。

この様な年間の取り組みの中、特徴的な取り組みとしては、まず、「飯塚市少年の主張大会」です。これは、市内の中学生を対象として、社会情勢（国内外）に対する広い視野を持って物事を考える力や、創造力を養う事を重視する事業です。



平成26年度には、飯塚第一中学校の山本由菜さんが福岡県代表として出場した全国大会で内閣総理大臣賞を受賞しました。一方、小学生を対象にした「いっぴか小学生の討論会」では、小学生を対象として自分の考えを言葉という方法で伝え、相手の意見の中に自分の考えを重ねて自分自身を見つめ、発見する能力を養う事業を行っています。

## 設立45周年を迎えて

～未来を担う青少年の大きな糧となり、地元を愛する心につながることを願って～

### 北九州市青少年育成市民会議

北九州市青少年育成市民会議は、1974年2月に設立、今年45周年となりました。

企業賛助会員、青少年関係諸団体会員、個人会員から構成されており、福岡県では数少ない、市民ボランティアのみですべてを運営している団体です。

近年始めた事業のひとつに、小学生チャレンジ駆伝大会があります。周回コースを5人でタスキをつなぎ

ますが、あえてタイムを取らない珍しいスタイルで行っています。当初は手探りで試みでしたが、走ることが苦手だった子ども達が、タイムを取らないので気軽に参加できる！と好評で、リピート参加のチームも増え、広がりを見せています。会場はJRA小倉競馬場の全面協力で、パドックや地下馬道などの特設コースとなっており、普段は絶対に入れない場所での駆伝競走は、子どもたちにとって貴重な体験になっています。



他にずっと継続している春季チャレンジキャンプは、企画段階から大学生リーダーも参加し、若い彼らの意見を大きく反映させた内容で実施しています。今年三泊四日、山口徳地青少年自然の家でのプログラムでしたが、参加者の小中学生もリーダーもほぼ初対面での宿泊体験。順調に行くことばかりではありませんが、あらゆることを乗り越えて短期間で強い絆が生まれるようです。自分もいつかあんなリーダーになりたい！と憧れる参加者も少なくありません。子どもの頃の楽しかった思い出や学生時代の充実した体験が、未来を担う青少年の大きな糧となり、地元を愛する心につながると考えながら、地道に活動しています。

## 賛助会員へのお知らせとお願い

このほど広報部では、あらゆる場所で取り組まれている青少年健全育成や社会貢献を広く紹介すると共に、さらに、県民の方々が身近に感じる広報紙の内容にすることとしました。つきましては、全ての賛助会員の方々に広報紙「若いなかま」に掲載する記事を募集します。

- ① 掲載する記事は、「青少年健全育成」「社会貢献」等を内容とする取組

- ② 記事の字数は、300字程度、なお、活動の様子が分かる写真1枚必要
- ③ 記事の掲載は、7月、11月、3月の発行月に近い号に掲載
- ④ 記事を送る場合は、メール、FAX、郵送でも可能（ただし、写真は、メールか郵送）
- ⑤ 送り先

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 福岡県吉塚合同庁舎内6F  
 (公社)福岡県青少年育成県民会議 育成課:田中宛まで  
 TEL:092-643-6001 FAX:092-643-6003  
 メール:tanaka.m.1803@diary.ocn.jp



事務局だより

主な行事(H31年3月20日～R元7月21日)

- 3月 22日(金) 家庭部会
- 25日(月) 定例青連協常任委員会
- 29日(金) 市町村民会議・推進指導員・指導者等合同研修会
- 4月 15日(月) 定例青連協常任委員会(以降、5/16、6/17)
- 16日(火) 県民会議監査
- 18日(水) 第1回総務部会
- 22日(日) 青連協監査
- 24日(水) 第1回理事会
- 5月 8日(水) 第1回さわやかマラソン大会実行委員会事務局会議(以降、7/12)
- 9日(木) 第1回広報部会(以降、6/10、25、7/3・10・22)
- 14日(火) 第1回健全育成部会
- 25日(土) 青連協総会
- 29日(水) 定時総会、第1回家庭部会
- 6月 9日(日) 青年ボランティア・サポーター
- 28日(金) 少年の主張応募締め切り
- 7月 7日(日) 「育成キャンプ」スタッフ打ち合わせ会及び事前説明会
- 10日(水) 少年の主張審査委員会(以降、7/26)
- 21日(日) 「育成キャンプ」実施場所下見

新賛助会員(R元年6月現在)

- 個人 大同建設(株)(北九州市)
- 東 良(大川市)

**赤い羽根共同募金**



高齢者、障害者、子どもたちなどへの地域の福祉活動を支援します。ボランティアセンターの設置や運営にも役立ちます。

この広報紙は、共同募金の配分を受けて発行しています。

青少年育成考

「青少年一人ひとりの心をいかに理解してやるかが大切」



公益社団法人

福岡県青少年育成県民会議 理事  
福岡県青少年育成町民会議 会長

三 角 主 計

苅田町青少年育成町民会議は、平成元年7月14日に産声を上げ、昨年創立30周年を迎える事が出来ました。思えば、平成の始まりと共にスタートし平成の終わりに際して節目の年を迎えるのは私自身平成2年4月より町民会議総務会の一員として参加しておりますので、ひとしお感慨深く感じております。

この30年間、町民会議は、未来を担う若者が健全に育っていくことを支援し、見守っていくと言う理念のもと、行政や町民の皆様と連携して様々な活動をしてまいりました。研修会・講習会・シンポジウム等を定期的に開催すると共に親子で楽しめるウォーキングラリーや木工教室・ソーめん流し大会・また町民皆で楽しめるイカダ大会、子ども達のオアシス運動の作文や絵画コンクール等の事業を実施してまいりました。また、学校での朝の声掛け運動・夜間の見守り活動、町のイベントでの補導活動なども地道に続けてまいりました。しかし、青少年を取り巻く状況



は、近年大きく様変わりしております。この30周年を契機に、そして令和時代への移行を期して、町民会議の活動も、時代に即したものに変わっていくことが必要だと考えております。そのため、創立30周年記念事業の一環としてロゴマークを一新致しました。苅田町の苅と言う字を図案化し、親が優しく見守るデザインです。このロゴマークのもと、新しい令和の時代は、新たなチャレンジの年にしたいと考えております。

次に私の日課として取り組むご紹介いたします。小学生の年間学習時間2045日のうち200日間毎日朝の通学時に150人位の子ども達に朝の声掛けと交通指導を毎日1時間、17年間続けております。元気な子ども達の笑顔と笑い声に励まされ、80歳になった今も風邪もひかず病氣もせず、毎日子ども達に元気をもらっています。

編集後記

5月29日の定時総会で一団体と11個人へ表彰状・永年賛助会員へ感謝状の贈呈が行われた▼41年間の活動で表彰された苅田町の三重野隆博氏は昭和・平成・令和と3時代に渡り活躍してこられた▼52年目を迎えた青少年育成県民会議の歴史と共に歩んで来たといつても過言ではない▼前号に引き続き「特集・子どもの貧困問題」を取り上げた▼久留米市の特定非営利活動法人「わたしと僕の夢」を取材▼行政が全面支援・協力しているこの活動は他に類を見ない▼この活動を支えている職員・ボランティアの日々の地道な努力が子ども達に「生きる力と希望」を与え、育んでいる。

県民会議広報部会長 馬場 京子

青少年の健全育成のために

賛助会員入会のお願い

次代を担う青少年の健全育成を図るため、県民会議は、少年の主張大会、野外学習、マラソン大会など、様々な活動をしています。

県民会議では、賛助会員の募集を行っています。会費は左下のとおりです。電話(092-643-6001)をいただければ、資料をお送りいたします。

賛助会員の年会費

個人	1口	1,000円
法人又は団体	1口	15,000円
特別賛助会員	1口	50,000円

納入いただく方法

会費は、公益社団法人福岡県青少年育成県民会議の次のいずれかの口座に納入していただくか、県民会議事務局に直接ご持参ください。

- 西日本シティ銀行千代町支店(普通預金) 3053033
- 福岡銀行県庁内支店(普通預金) 526475
- 筑邦銀行福岡営業部(普通預金) 1597091
- 福岡中央銀行本店(普通預金) 1030569
- ゆうちょ銀行振替 01700-5-4057

